

平成29年度 八代高等学校シラバス

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	学年	2	類型	
単位数	2	教科書	Vision Quest II (啓林館)				
副教材	システム英作文 (桐原書店)						

学習目標	1年次に学習した基本的な例文や構文知識をもとに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える能力を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・主語の決定 ・関係詞 ・形式主語 ・動詞の語法 ・使役動詞と知覚動詞 ・直接話法と間接話法 ・能動態と受動態 ・助動詞 ・名詞の修飾 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。 ・自分や与えられた課題について文章を書くことができる。 ・与えられた状況に置いて適切に話し、伝えることができる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・比較 ・否定 ・パラグラフの構成 ・ディベート ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。 ・自分や与えられた課題について文章を書くことができる。 ・与えられた状況において適切に話し、伝えることができる。 ・パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ・自らの意見を適切な表現を用いて伝えることができる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	システム英作文より <ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語 ・関係詞 ・接続詞 ・時制 ・助動詞 ・仮定法 ・不定詞 ・動名詞 ・分詞 ・態 	それぞれの文法項目の形式の理解。 それぞれの文法項目の意味の理解。 それぞれの文法項目の機能の理解。 基本的な表現の活用。 発展的な表現の理解。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	該当レッスンの演習問題に各生徒が予習で取り組む。 予習した内容をベースにして授業で開設を行う。 即興的な自己表現も授業中に行う。
------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・予習 ・提出物の状況 ・エッセイライティング(自由作文) ※上記の項目を総合的に評価する
------	---